

# 決算報告

令和2年度

問 財政課 ☎内線1221

一般会計  
歳出合計 **365億2,200万円**

令和2年度決算がまとまり、9月に開かれた第3回定例会において認定されました。一般会計では、前年度比で歳入は21.5%増、歳出は22.4%増となりました。皆さんが納めた税金が、この1年間でまちづくりにどう使われたのか、一般会計を中心に、概要をお知らせします。

## 生涯活躍のまちを支える 取り組み

5つの柱

1



牛久市乗合タクシー「うしタク」

した。高齢者や運転免許を持たない交通弱者等の移動手段を確保するとともに、公共交通不便地域の解消を図ります。

### ● デマンド型公共交通サービスを実施する

2810万1千円

担当／経営企画部

令和2年10月1日から、車両3台による市内全域にデマンド型乗合タクシー運行を開始しました。

### ● 健診(検診)を助成する

1億17万7千円

担当／保健福祉部

◆ 生活習慣病健診などを実施する  
……………(一般会計)

◆ 胸部・胃・大腸・前立腺の検診を実施する  
……………(一般会計)

◆ 特定健康診査・特定保健指導を実施する  
……………(国保特会)

◆ 後期高齢者に健康診査を実施する  
……………(後期高齢特会)

生活習慣病の予防と早期発見のため、30代健診、特定健診等を受けられる体制(集団健診、医療機関検診)を構築し、検診費用の助成と保健指導を行っています。



## 安心した出産と、子育ての負担を 軽減するための取り組み

5つの柱

2

### ● 民間保育園の運営を支援する

18億8660万円

担当／保健福祉部

待機児童の解消、さらなる子育て環境の充実に向け、民間保育園の運営に対する助成を行っています。

令和元年度から、民間保育園の保育士等処遇改善補助金を短時間保育士まで拡大しています。

### ● 支援を要する親子へ相談を行う

153万9千円

担当／保健福祉部

育児不安を抱え、子育てに悩む保護者を対象に、より効果的な対応の仕方について相談や教室を開催し、子どもの成長発達・虐待予防を支援しています。

令和2年度は親子教室を2クラスから3クラスへ増やしました。

### ● 妊婦・乳幼児とその保護者に対して、教室・相談を実施する

225万1千円

担当／保健福祉部

妊婦や乳幼児のいる保護者が、妊娠出産育児に関して必要な知識、技術を得ることができるよう教室・相談を実施します。

令和2年度は、父親への子育て支援充実のため、出張での沐浴体験等を開始しました。また、オンラインで教室・指導ができるよう、機器整備を行いました。

### ● 予防接種を実施する

1億7238万1千円

担当／保健福祉部

各種予防接種の実施を通し、感染症の拡大と重症化を予防しています。予防接種法に定める定期接種に加え、ロタウイルスワクチンなど任意の予防接種への助成を行っています。



# 令和2年度に取り組んだ主な事業

市では、令和2年度を目標年次とする「後期基本計画」に基づき、さまざまな施策を展開してきました。令和2年度は下記の5つの柱を掲げ、各分野で取り組みを実施しました。

## 地域経済の 活性化・経済循環 の取り組み

5つの柱 **3**

### ●牛久市商工会の 運営を助成する

2238万6千円

担当／環境経済部

市内商工業者の経営改善のための助成をはじめ、商工会の実施するさまざまな事業への支援を行っています。

令和2年度は各部会事業や商工会だより発行のほか、「うしくまちゼミ」や創業支援の取り組みである「創業塾」の開催に

対する助成を行いました。



## 観光資源を活用した 活性化への取り組み

5つの柱 **4**

### ●牛久シャトーを 利活用する

6915万8千円

担当／経営企画部

国指定重要文化財を含む牛久シャトーの保全保護を図りながら、観光資源として有効活用します。令和2年6月には、牛久シャトーが日本遺産として認定され、同月、牛久シャトー株式会社により物販事業と飲食事業の一部が再開され、令和3年6月にはワイン醸造が再開されました。

### ●牛久市観光協会を 支援する

1061万9千円

担当／環境経済部

観光情報の発信や観光資源の活用のため、

牛久市観光協会を支援しています。

令和2年度は、6月にエ

スカード牛久ビル2階にオープンした牛久市観光物産館「いばらき自慢」の運営を支援しています。



### ●住井すゑ記念館を 公開活用する

1億9801万8千円

担当／教育委員会

平成29年度に寄附を受けた旧住井すゑ邸について、住井すゑ関連資料を公開する展示室等を備えた文学館として整備を行いました。郷土の偉人を顕彰するとともに、周辺の歴史・自然・文化・芸術などに触れ合える新たな観光拠点として活用を図ります。



5つの柱 **5**

## 再び転入超過の 波を呼び込む まちの整備

### ●エスカード牛久ビル の利活用を図る

1億3965万8千円

担当／経営企画部

牛久駅周辺の活性化のため、拠点施設であるエスカード牛久ビルの再生に取り組んでいます。令和2年6月には、平成29年2月にイズミヤが撤退して以降閉鎖されていた2階フロアのリニューアルオープンを行い、令和3年5月には3階フロアに常総国道事務所牛久監督官話所が開所されました。

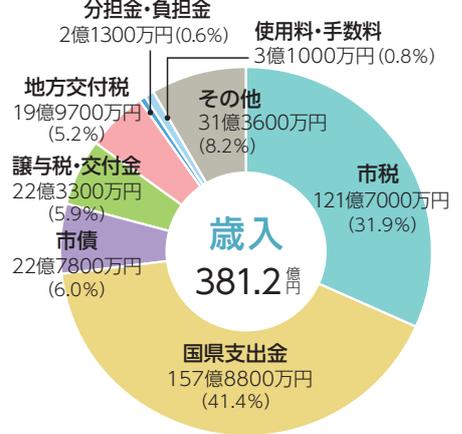
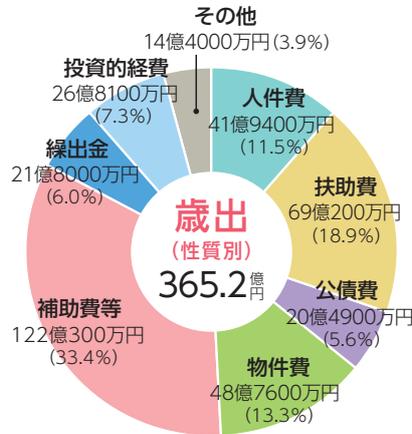
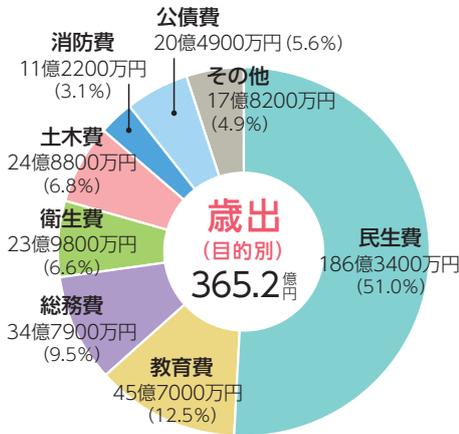


決算詳細は  
次ページ

**歳出** 365億2,200万円  
前年度に比べ66億8,000万円、22.4%増加しました。

**歳入** 381億2,500万円  
前年度に比べ67億5,600万円、21.5%増加しました。

令和2年度決算は、特別定額給付金の支給や、市独自事業の新型コロナウイルス感染防止対策補助金、牛久市持続化交付金をはじめ、コロナ禍における補助事業費等の実施により、歳入歳出とも過去最高額となりました。一方で、令和元年度まで7年連続で増加を続けていた市税は、1億4千万円の減額となりました。



＜市民一人当たりの歳出内訳＞ (一般会計)

市民一人当たりが負担したお金(市税)  
**143,690円**  
(昨年度145,087円)  
※市税総額÷住基人口(令和3年3月31日時点)

市民一人当たりに使われたお金  
**431,218円**  
(昨年度351,698円)  
※歳出総額÷住基人口(令和3年3月31日時点)

民生費220,007円／教育費53,954円／総務費41,080円／衛生費28,318円／土木費29,377円／消防費13,250円／公債費24,187円

＜特別会計＞

会計名	歳入総額	歳出総額
国民健康保険事業	74億3,900万円	72億1,800万円
青果市場事業	1,700万円	1,500万円
介護保険事業	59億,3900万円	54億900万円
後期高齢者医療事業	19億3,300万円	19億3,300万円

＜企業会計＞

会計名	収益的収入および支出		資本的収入および支出	
	収入	支出	収入	支出
下水道事業	15億8,000万円	15億5,700万円	11億3,100万円	12億3,500万円

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額1億400万円は、補てん財源を充当した。

令和2年度 主な他の主要施策



●防災・防犯・安全のまちづくり  
355万2千円

◆交通安全施設を新設する  
4563万2千円

◆防犯灯の新設・管理、防犯カメラを設置する  
532万7千円

令和2年度は、カーブミラーを7基、路面標示を47箇所設置しました。また、行政区からの設置要望箇所や通学路を中心に、防犯灯の設置・管理を行うとともに、蛇喰交差点に街頭防犯カメラを設置しました。

ました。

●おくのキャンパスでの特色ある教育の実施と教育環境の整備

◆おくのキャンパスで特色ある教育活動を推進する  
532万7千円

児童生徒数の減少が進む奥野地区の小中学校において、令和2年4月からおくの義務教育学校が開校となり、小規模特認校制度の活用と国際理解教育の充実や地域の特性を活かした魅力ある学校づくりを進めています。

●生活道路の新設と維持

◆道路維持費  
2億6941万1千円

◆道路新設改良費  
4億6713万1千円

令和2年度は、道路、排水路、橋梁等のインフラ施設の補修、および計画的な修繕に加え、市道23号線整備通学路の安全対策等、計画的な道路整備を行いました。

●行政区活動の活性化  
◆行政区集会所施設の整備や管理に対する助成  
3762万4千円

地域コミュニティ活動の拠点となる集会所施設の整備・管理にかかる経費の助成を行い、コミュニティ活動の推進と充実に努めています。令和2年度は、栄町行政区集会所の新設補助を行ったほか、各行政区集会所の修理等経費の補助を行いました。



ました。